

【学校教育目標】
共に育てる自立と輝き
～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

【道徳科目標】
「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」

四つの視点			
A 主として自分自身に関する こと	B 主として人とかかわりに関 すること	C 主として集団や社会生活に関 すること	D 主として生命や自然、崇高な ものとの関りに関すること



【本校における道徳教育重点目標】			
A 良いことと悪いことが分か り、自分から行動する (善悪の判断・自律)	B 家族や友達を思いやり、親 切にすることができる (親切・思いやり)	C 働くことの大切さを知り、 誰かの役に立つことを進ん で行う (勤労・公共の精神)	D 人間として生きる喜びを見 つける (よりよく生きる喜び)



【各学部の重点目標】		
【小学部】	【中学部】	【高等部】
A:良いと思うことを進んで行う B:明るく気持ちの良い挨拶をする	B:思いやりの心をもって人と接する C:将来の生き方について考える	C:働くことを通じて社会に貢献する D:人間として生きる喜びを感じる

	各学部における道徳の観点		
	小学部	中学部	高等部
A 自分自身に関すること	・よいこと、悪いことの区別をする。 ・自分のやるべき事を進んで行う。 ・健康や安全に気を付ける。 ・規則正しい生活をする。	・自分の長所や得意なことを発見する。 ・責任をもって取り組む。 ・目標に向かって努力する。	・自分の長所や得意なことをのばし、自己肯定感を育てる。 ・自分で判断して行動を律する。
B 人とかかわりに関すること	・身近にいる人に感謝したり親切にしたりする。 ・明るく気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などを心掛ける。 ・友だちと仲よくする。	・思いやりの心を持って、相手の立場に立って接する。 ・異性についての正しい理解を深める。	・他者と協力して目標をなしとげる。 ・友達や異性などについて、互いに尊重し信頼しあう心を育てる。
C 集団や社会との関りに関すること	・約束やきまりを守る。 ・みんなで協力し、学校の生活を楽しくする。	・社会のルールやマナーを守る。 ・働くことの大切さを知る。 ・集団の中での役割を自覚して活動する。 ・様々な文化を知り、親しむ。	・社会の中での生き方、社会との関り方を学ぶ。 ・生涯にわたり生きがいのある生活を送る力を育てる。
D 生命や自然、崇高な物との関わりに関すること	・生命を大切にする。 ・身近な自然や動植物を大切に する。	・生命がかけがえのないものであることを知る。 ・自然環境を大切にする。	・美しいものや自然に触れる体験を通して、生命や自然を尊重する態度を育てる。

【道徳教育推進体制】
1. 道徳教育の指導計画の作成に関すること（教務課・各学年）
2. 全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること（生徒指導課）
3. 道徳の時間の充実と指導体制に関すること（各学部）
4. 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること（生徒指導課）
5. 道徳教育の情報提供や情報交換に関すること（生徒指導課）
6. 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること（地域支援課）
7. 道徳教育の研修の充実に関すること（研修課・生徒指導課）
8. 道徳教育における評価に関すること（教務課・自立活動課）

【生徒指導等との関連】
・自制心やモラル、自己判断力の育成
・人権意識の育成
・自己肯定感の育成
・安全等に対する意識の育成
・挨拶の推進
・いじめ防止

【異校種との共同学習及び交流】
・居住地校交流
・近隣の保育園、小学校、中学校、高等学校との交流

【家庭 地域との連携】
・家庭、福祉機関等との連携による基本的
生活習慣の確立
・地域の行事への参加

【学校環境の充実】
・挨拶運動の充実
・清掃美化活動の充実
・児童生徒の作品の展示